Rev.01 2014.1.24

MAGNIAシリーズ

<u>HarnessEye/web における</u> Java7 Update51 以降適用時の <u>例外サイト設定手順書</u>

2014 年 1 月にリリースされた Java Runtime Environment 7(以下、JRE7 と略す) Update 51 では、セキュリティの要 件が変更となり、署名されていないアプレットはプログラム実行できなくなりました。 HarnessEye/web では、Web 表示の一部に Java を使用しており、JRE7 Update51 がインストールされている環境で は、Web 表示に影響を受けます。

JRE7 Update51 のセキュリティ設定をデフォルトの設定のまま HarnessEye/webを実行した場合、次のような影響があります。

・ 「サマリー」画面にて、パフォーマンスのグラフ表示が正常にできません。

・ リモート KVM(*1)画面が正常に表示できません。

(*1) リモート KVM 対応機種については、「HarnessEye/web ユーザーズガイド」をご覧ください。

例: JRE7 Update51 のデフォルト設定で「サマリー」画面を表示した場合

HarnessEye/web のエージェント一覧からエージェントを選択すると、以下の Java のログイン画面が表示されます。

認証が必須です
🥌 lava
highball/192.168.200.111の <default>にアクセスするには、ログインの詳細を入力してください。</default>
ユーザー名(U): administrator
パスワード(<u>P</u>): ********
ドメイン(<u>D</u>):
□ このパスワードをパスワード・リストに保存
OK 取消
認証スキーム: 統合されたWindows

画面下部の「認証スキーム」に表示された認証情報に従った認証方法でログインすると、以下のようなダイアロ グボックスが表示されます(4回)。

アプリケーションがブロックされました	×
セキュリティ設定によってブロックされたアプリケーション	i
名前: Base0	
場所: http://highball	
ご使用のセキュリティ設定により、信頼できないアプリケーションの実行がブロックされてい	ます
	OK

表示されたダイアログボックスの[OK]ボタンを押して続行すると、HarnessEye/webの画面が表示されますが、下記のようにパフォーマンスの画面が表示されません。

Church Section 20			Rid Harris	11- MINEAL X-	Saut tattet (O)
) 1995 у халонан Целанан	9.00-(le kant) S/27.6 Territorian Ter	itta-v	223 - PER Newry Line		
g nestr 2 Villenne 2 Nillennes 2 Nillennes		*			
An Alamone		1141		REAR .	
9 mm	T+27	and the second second	149-2		
A CONTRACT OF A	The remained size of Lines of	Drive(0)	Rytes Total fami		
		2016]		2748]	
	E24-	1.8			
	Contract Contract	828 J		1	
	M 105	23- 10. 2	8.05.38 at		
			(建立1日間の件材)		

HarnessEye/webのサマリー画面およびリモートKVM画面を正常に表示するためには、JRE7 Update51のセキュリティ設定にて例外サイト設定を実施する必要があります。

JRE7 Update51 で HarnessEye/web の画面を正しく表示する方法

1. [Java コントロール・パネル]の[セキュリティ]タブで、[サイト・リストの編集]をクリックします。

≦」Javaコントロール・パネル	_ 🗆 🗙
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
☑ ブラウザでJavaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
↓ − 高(最小限の推奨)	
л	
信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可されます。	
例外サイト・リスト 次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を ます。	許可ざれ
「サイト・リストの編集」をクリックします アイテムをこのリストに追加します。 サイト・リストの編集(S)	
セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証明書の管理	!(<u>M</u>)
	箇用(<u>A</u>)

2. [例外サイト・リスト]が開くので、HarnessEye/webの管理中継サーバーの URL を追加します。 管理中継サーバーのコンピューター名が "MAGNIA"の場合、「http://MAGNIA」と入力してください。

🔊 例外サイト・リスト	X
>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。	,
場所 14. http://MAGNIA	
道加(A) FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお薦めします。	
OK 取消	

3. 以下のような画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

セキュリティ警告 - HTTPロケーション	×
例外サイト・リストにHTTPロケーションを含めることは、セキュリ ティ・リスクと見なされます	
場所: http://MAGNIA HTTPを使用するロケーションにはセキュリティ・リスクがあるため、お使いのコンピュータの個 険にさらされるおそれがあります。例外サイト・リストにはHTTPSサイトのみを含めることをお	人情報が危 薦めします。
このロケーションを受け入れる場合は「続行」をクリックし、この変更を中止する場合は「取 します。 続行	消」をクリック

同様に、リモート KVM を使用する場合は、管理用 LAN ポートの URL を例外サイトに登録する必要があります。管理用 LAN ポートの IP アドレスを "192.168.1.1"に設定している場合、「http://192.168.1.1」と「https://192.168.1.1」の2つの URL を登録してください。

以上で、Java の設定は完了です。

なお、JRE7 Update51 にてセキュリティ設定を変更した後に、HarnessEye/web の「サマリー」画面を表示しようとす ると、「セキュリティ警告」画面が表示されるようになりますが、処理を続行することにより、「サマリー」画面を表示す ることができます。

例: JRE7 Update51 のセキュリティ設定変更後に「サマリー」画面を表示した場合

HarnessEye/web のエージェント一覧からエージェントを選択すると、以下の Java のログイン画面が表示されます。

	認証が必須です 🔀
	👙 Java ⁻
	highball/192.168.200.111の <default>にアクセスするには、ログイン の詳細を入力してください:</default>
	ユーザー名(U): administrator
	パスワード(Ⴒ): ********
	ドメイン(<u>D</u>):
	□ このパスワードをパスワード・リストに保存
	ОК 取消
<	認証スキーム: 統合された Windows

画面下部の「認証スキーム」に表示された認証情報に従った認証方法でログインすると、以下のようなダイアロ グボックスが表示されますので、[実行]をクリックしてください。



上記の画面で[実行]をクリックすると、HarnessEye/webのパフォーマンスグラフが正常に表示された「サマリー」 画面が表示されます。

本内容は、予告なく変更する場合があります。